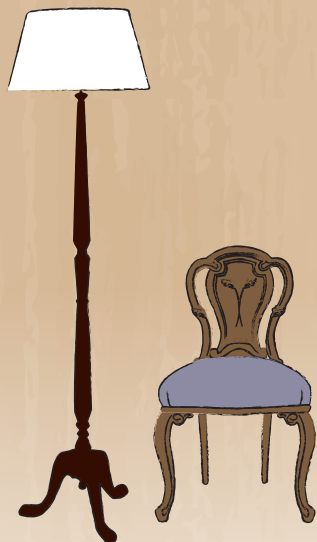


図書館 だより

No.27
2023.4.1

Kobe Women's University and Kobe Women's
Junior College Suma Campus Library



読書の功罪と古典

文学部日本語日本文学科 樹下 文隆

「本を読みなさい」一聞き慣れた言葉ですが、私が子どもの時には、「本ばかり読んでないで、ちょっとは勉強しなさい」というフレーズの方が耳慣れていました。本は娯楽で、今ならゲーム、少し前ならマンガやアニメ・テレビに相当するものでした。子どもは楽しくないことを自発的にすることはありません。子ども向けの本は、読む楽しさを味わえる要素をいっぱい盛り込みつつ、その時代に相応しい成長の糧となる指針をさりげなく提示しています。絵本やマンガも読解力を補う手段であると同時に楽しく読書に誘ってくれます。文字を覚えていない子どもには、「読み聞かせ」やアニメなどが与えられます。子ども向けの本は社会の常識を身に付ける点で有効でしょうが、同時に読者の指向を誘導する側面もあります。特に周囲の大人が勧める読書やゲームは、子どもを社会の規範に馴染むように仕向けていくという面があります。

「読み聞かせ」「絵本」「ゲーム」は、古代から知識や社会の常識を教えるために生み出された装置です。それによって同じ価値観を有する社会集団が成り立っていると言えましょう。したがって、本を読んでも批判精神や独創性は身に付きません。だから、読書離れが批判精神の欠如に繋がるという考え

方は正しくないと思います。しかし、本をたくさん読む子どもは、大人が勧める本ばかりを読むわけではありません。大人向けの「不健全」で「反社会的」な本には、理不尽な暴力や頹廃・背徳へと子どもを誘引するでしょう。本もマンガもゲームも人間の所産ですから、数をこなすことで、様々な思想や感情にふれることができます。「本を読みなさい」というのは、社会規範を身に付けさせようとする大人の口癖ですが、度を超すと社会規範から逸脱する危険もしくは魅力をも有しているのが読書です。それでも、読書の悪魔的な魅力を認識するようになれば、本の内容を批判的に受け止めることができるはずで、読書を糧として、その人の精神は成長したのだといえるでしょう。

しかし、同時代に作られた本だけを読んでいる限り、社会規範に従う思考も反発する思考も、洗脳と同じで批判精神とは言いがたいものです。そこで、私がお勧めするのは「古典を読みなさい」です。古典は、それぞれの時代の批判を耐え抜いて今に伝わるものですから、それを尺度として現代の本を眺めることによって、はじめて批判的な読書ができ、社会規範に惑わされない批判精神が身に付き、独自の価値観を得ることができると私は思います。

先生と ブックトーク

家政学部管理栄養士養成課程 文学部英語英米文学科
教授 **甲斐 達男** 准教授 **坂元 敦子**

子どもの頃に読んだ本の中で
印象に残っている本を教えてください。

甲斐先生 那須田稔著「チョウのいる丘」です。被爆2世の小百合（小5）が主人公の実話です。貧しい生活のなか白血病と闘いつつ、凜として前を向いて生きる美しさと、他者への優しさに満ち溢れる姿に感涙させられました。主人公と同じ小5の時に読んだ本です。

坂元先生 子供部屋の本棚に並んでいた世界文学全集が好きでした。全12冊くらいで国別になっていて、金色の装丁の綺麗な本で、わくわくして表紙を開きました。その中の『みずうみ』（T.シュトルム）は、湖水地方の風景を背景に、おさななじみの男女が成長しすれ違う、せつない物語で印象に残っています。中学生の時は毎日のように文庫本を読んでいました。『かなしみよこんにちは』（F.サガン）、『斜陽』（太宰治）、『細雪』（谷崎潤一郎）、『嵐が丘』（E.プロンテ）などは繰り返し読みました。

大学時代に読んだ本の中で
印象に残っている本を教えてください。

甲斐先生 遠藤周作著「沈黙」です。神の存在に対する遠藤氏の信仰心と懐疑心の激しい衝突が主人公のキチジローに投影されていて、余韻が重くのしかかってくる一作です。遠藤氏の生い立ちを知った上で読み返すと、違った感動がありました。

坂元先生 2回生の英語の授業で読んだT.ウィリアムズの*The Glass Menagerie*（『ガラスの動物園』）に感銘を受けました。アメリカの3人家族の話ですが、日本と共通する要素が多いことにも驚きました。内気でガラスの動物を集めている少女ローラ、華やかな娘時代を懐かしむ母アマンダ、家を出て自分の夢をかなえたいトムの様子が静かに、幻想的に描かれています。翻訳版も出ていますし、日本でもたびたび上演されている人気作です。

現在の学生に、ぜひ読んでほしい本を
1冊紹介してください。

甲斐先生 社会人になって読書から遠ざかりましたので、おこがましくて「これだよ」って言い難いです。ネットで「大学生が読むべきおすすめの本」を検索したら、1冊だけ読んだことのあるものがありました。吉野源三郎著「君たちはどう生きるか」です。

坂元先生 学生時代は自分の専門以外も含めさまざまな分野の本を読むことをおすすめします。ここでは『古都』（川端康成）をあげたいと思います。京都の帯問屋の娘千重子が、ある日北山杉を見に行くとき自分とそっくりな苗子に出会います。ふたりの生き方はまるで違います。あなたは千恵子、苗子どちらに共感するでしょうか。本を片手に平安神宮や祇園祭など、京都の四季を巡るのも楽しいでしょう。

今までに見た映画・テレビドラマの中で、
一番印象に残っているものを教えてください。

甲斐先生 とても1つに絞れません。繰り返し観たという点でベスト3を挙げます。①「砂の器」（原作：松本清張、脚本：山田洋次・橋本忍、監督：野村芳太郎）、②「ボヘミアン・ラプソディ」（原案・脚本：Anthony McCarten、監督：Bryan Singer）、③「君の名は。」（原作・脚本・監督：新海誠）。

坂元先生 映画ではありませんがロンドンの劇場で見た*Les Misérables*（『レ・ミゼラブル』、ミュージカル）は素晴らしかったです。映画化もされていますが、機会があれば舞台での鑑賞をおすすめします。恋、友情、革命、強さと弱さ、家族、生と死、幸せとは、など人生で出会うさまざまな問題が凝縮された作品です。日本でもよく上演されています。ヴィクトル・ユゴー原作。

先生の「理想の図書館像」を
教えてください。

甲斐先生 座っているだけで深い瞑想に誘われるような、建築芸術美に包まれた天井の高い洋風造りの図書館が好きです。その一方で、バーチャル世界で、世界中の図書館を訪れて本を手にとって読めるようになるというなのも思います。

坂元先生 大学時代は自分の専門以外も含めて幅広い分野の本を読む時間がありますし、それを吸収できる時期だと思いますから、そうした興味や好奇心にこたえてくれる、さまざまな分野の本を揃えた図書館が理想です。古今東西、専門書から歴史書、文学、音楽、サブカルチャーなど、すぐに役に立ちそうでなくても、読んだ本はきっと自分の栄養になることでしょう。

学生の頃、ゼミの指導教授が「貴女方、本をたくさん読みなさい。興味がないと思っている分野のものでも、まずは読んでみなさい」と教えてくださったことがあります。興味あるものは、いくらでも読み進めることができますし、書店でも自然と足が向きます。しかし、そうではないものに対しては中々ページも進みませんし、書店のコーナーへも立ち寄ることもなかったのを覚えています。図書館では常設展示を行ったり、他の学科の先生方がご推薦くださる書籍を紹介したりしています。このようなコーナーに立ち寄り、今までは興味なかった分野へも是非、目を向けてみてください。ご自身でも気付かなかった新しい世界が見つかるかもしれませんよ。

4月～7月	常設展示『染めを感じて／でも感染はイヤよ』	12月	♡『クリスマスお勤め図書』
5月	ボランティア活動開始	12月	第一回WEB選書ツアー
6月	第一回書店選書ツアー	10月～1月	常設展示『てくてく旅:江戸時代の観光旅行』
7月	♡『今、考えていること-あなたの興味はどこにある?』	2023年	
7月～9月	♡ OPCにてワークショップ開催 SDGS『絵本カバーでエコバックを作ろう!』	1月	♡『本の福袋』
8月～9月	♡『夏の推し本』	1月	読書マラソン2022年度表彰式
10月	第二回書店選書ツアー	2月～3月	♡『一度も貸出の無い資料。一緒に連れて帰って!!』
10月	♡『Happy Halloween』		♡…ボランティア企画

図書館ボランティア学生からの一言



P.N. マオ

私は最初POP作りが苦手でしたが、絵を描く以外の方法も試していくうちにPOP作りが楽しくなりました。

P.N. RIHO

今年度から大幅に人数が増え、とてもやりがいを感じた一年でした。来年度の活動が更に楽しみになりました。

P.N. なぎ

本と関わる機会が増え、より一層司書を志す気持ちが高まりました。また、POP作成が非常に楽しかったです。

P.N. たらこ

絵本のエコバッグや福袋を作るのがとても楽しかったです。また、オープンキャンパスで高校生に喜んでもらったのが嬉しく感じました。

P.N. A

初めてボランティアに参加しました。配架だけではなく本のPOPを書いたり、選書をしたりと貴重な経験ができました。

P.N. とうちく

毎週リラクセスして作業をすることができました。少しでも図書館の役に立てたのなら嬉しいです。

P.N. キリカ

書架の整理や季節展示・ポップ作成など、図書館業務のお手伝いをしながら、自分らしさも出せる活動はとても楽しいです。

P.N. いちご大福

POPの制作や配架などあまり経験のないことができ、楽しみながら図書館の良さについて学ぶことができました。

P.N. いちごオレ

POP作りや配架作業など図書館に関わる活動ができて楽しかったです。図書を除籍など貴重な体験もできました。

P.N. 芝生

ボランティア活動を通して、様々な経験をすることが出来ました。ボランティアの学生で協力し、図書館のお手伝いができてよかったです。

P.N. りんご

ボランティア活動を通して、私は図書館の仕組みを覚えることが出来たり、本に関して興味・関心が出てきたりしました。特に図書館の仕組みに関しては、別の図書館に行った時にも、自分が読みたいと思った本を探しやすいかったです。

P.N. カナエ

図書館ボランティアでの活動は良い経験になりました。より本に触れて、考える時間ができたので有意義な時間になったと思います。

P.N. 咲

図書館ボランティアに参加して、POP作りをしたり配架調整をしたりして色々なことに挑戦できて良かったです。

P.N. A.M

ボランティアを通じた出会いや、ポップや紙袋などの物作りといった、図書館ボランティアならではの経験は有意義でした。

P.N. 皐月

図書館ボランティアに参加した事で、本のポップ作りや本の表紙を再利用したバックなど貴重な体験ができて楽しかったです。

P.N. おもち

図書館ボランティアの活動を通して、より本と関わる機会が増えました。多くの人に借りてもらえるような活動をしていきたいです。

P.N. まる

今年度は図書館ボランティアの一環で、初めて大学のオープンキャンパスに関わらせていただきました。長い活動期間の中でもまた新しいことを経験でき、とても楽しかったです。

P.N. ペンギン

図書館ボランティアのおかげで、ポップ作成や配架調整、選書等、様々な活動ができ、貴重な経験をすることができました。

読書マラソン2022感想文受賞者



最優秀賞 ハートさん



優秀賞 ニャンプーさん

優秀賞 よるさん



奨励賞 つっきーさん

奨励賞 ミカンさん

最優秀賞受賞者 ハートさんの感想

この度は、最優秀賞を頂きありがとうございました。

私は、1年生の時に読書マラソンに参加し、去年、目標の100冊を達成することができました。この企画のおかげで、本を読む楽しさや魅力を知ることができ、これからも読書を続けたいと思います。

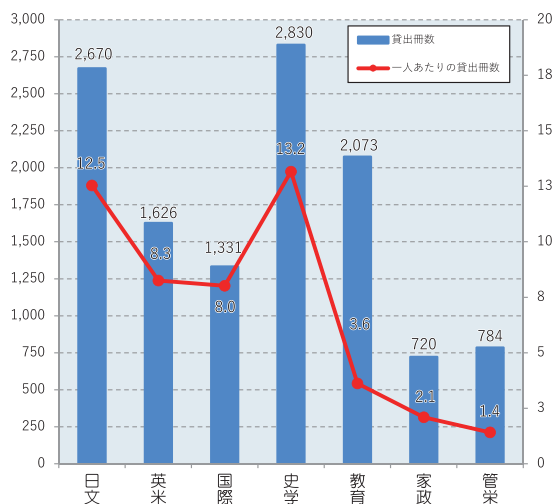
今年度は、選書ツアーにも参加しました。自分の選んだ本が図書館に並んでいるのを見て、とてもうれしい気持ちになりました。図書館には、色々な企画や利用者サービスがあります。みなさんもたくさん利用して、様々なジャンルの本を読んでみてください。

2022年度 学科別ベストリーダー

各学科で一番読まれた図書はこれ!! (2022年4月~2023年2月)

学科	タイトル	著者	配架場所	請求記号
日文	大神神社：石上神宮 (週刊神社紀行/学習研究社[編]；8)	学習研究社[編]	須磨1階A5閉架	175.9/Sh/8
英米	Titanic (Oxford bookworms library/series editor, Jennifer Bassett ; Factfiles ; stage1)	Tim Vicary	須磨2階多読コーナー	930.8/Ox/1
国際	メディア・オーディエンスの社会心理学	李光鎬, 渋谷明子編著；鈴木万希枝, 李津娥, 志岐裕子著	ポーアイ2階E2	361.453/lg(2)
史学	緑芽十片：歴史にみる中国の喫茶文化	布目潮風著	須磨3階M15他	383.8/66
教育	保育のなかの絵本	正置友子, 大阪保育研究所編	須磨3階M17他	376.159/Ma
	保育と絵本：発達の道すじにそった絵本の選び方 新版	瀧薫著	須磨3階M17	376.159/Ta
家政	ヴィクトリア朝の女性たち：ファッションとレジャーの歴史	山村明子著	須磨3階M16	383.15/Ya
管栄	レビューブック管理栄養士；2022	医療情報科学研究所編集	須磨2階K8 (教科書・資格検定等)	498.55/lg/2022

2022年度 貸出統計 (2022年4月~2023年2月)



図書館ホームページとOPAC(蔵書検索)の紹介

- 図書館ホームページには、図書館の行事案内や利用案内、開館カレンダーなど、図書館を利用する際に役立つさまざまな情報が載っています。
- 資料の予約や購入依頼、また貸出中の本の期限の更新も行えます。
- OPAC(蔵書検索)は図書館にある資料を検索する時に使います。読みたい本が図書館にあるのかどうか、どの場所にあるのかがわかります。
- 電子ジャーナルや「朝日新聞クロスサーチ」などのデータベースをご利用できます。

スマートフォン用
OPAC



<http://lib.yg.kobe-wu.ac.jp/>に
アクセスしてください。

編集後記

今年の春は特別な思い出になる季節かもしれません。長いマスク生活の中での【with コロナ】。図書館として学生の皆さんの居場所になれるよう力を注いだ3年間でした。

アクティブラーニング仕様に大幅に変更された4階やディスプレイが保てる2階のカフェ風長机。ボランティア学生と一緒に図書館企画にも力を注ぎました。今年は【フィジカルディスタンス(英語：physical distancing)】を心掛けながら活動を再開する皆さんのお手伝いができる図書館として電子ブックなどの利用も開始いたします。ぜひ一度利用してみてください。

図書館だより(須磨キャンパス図書館報) 第27号

発行日 2023年4月1日

編集・発行 神戸女子大学・神戸女子短期大学 須磨キャンパス図書館
〒654-8585 神戸市須磨区東須磨青山2-1
TEL：078-737-2326(直)

URL：<http://lib.yg.kobe-wu.ac.jp/>

(神戸女子大学・神戸女子短期大学 須磨キャンパス図書館ホームページ)